※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「音楽Ⅲ改訂版」　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽Ⅲでは、音楽Ⅰ及びⅡの学習成果を基盤として更に一人一人の能力・適性、興味・関心等に応じた多様な学習活動を展開し、卒業後も永続的に音楽にかかわっていこうとする意欲を高めるとともに、一人一人の個性に応じた豊かな音楽能力を身につけさせたい。また、芸術科音楽の最終段階であることを踏まえ、生活や社会における音楽の意義や在り方に関心をもつなど、幅広い視野で音楽を捉えることのできる豊かな音楽観を育てたい。

２　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 実技テスト	演奏の聴取 提出作品 実技テスト	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	器楽演奏	【器楽】 アルトリコーダーの独奏	○	○	○		a フレージングを工夫できているか。 bc 美しい響きで演奏できているか。	観察 演奏の聴取 実技テスト
	歌唱	【歌唱】 英語曲の歌唱	○	○	○		a 原語で暗譜できているか。 b 独唱の表現方法を工夫できているか。 c 正しいリズム、歌詞で歌えているか。	観察 歌唱の聴取
		【歌唱】 日本歌曲の歌唱		○	○		b 日本歌曲の様式を学ぶ。 b 日本語の歌詞を味わう。 c 正しいリズム、歌詞で歌えているか。	観察 実技テスト 歌唱の聴取
	器楽合奏	【器楽】 四部合奏	○	○	○		a 四部以上のパートに分かれた合奏曲に取り組む。 bc 正しいリズムで演奏できているか。	観察 演奏の聴取
2学期	合唱	【歌唱】 混声三部合唱	○	○	○		a お互いに聴き逢いながら歌えているか。 b 自分のパートを正しく歌えているか。 c 正しいリズム、歌詞で歌えているか。	観察 実技テスト 歌唱の聴取
	合奏	【合奏】	○	○	○		a メンバー、パート、担当楽器を決めさせ、練習に取り組む。 bc 全体のためにできる努力をしているか。	観察 演奏の聴取
	合奏	【器楽】 アンサンブル	○			○	a ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、ギターによるアンサンブルに取り組む。自分のパートを正しく演奏できているか。 d 全体のサウンド、バランスを感じながら、演奏できているか。	観察 実技テスト
		混声三部合唱	○	○	○		a お互いに聴き合いながら歌えているか。 bc 自分のパートを正しく歌えているか。	観察 歌唱の聴取

※令和３年度以前入学生用

3学期	合奏・合唱	【歌唱】 卒業制作としてレコーディングを行う。	○	○	○		abc 協力しながら演奏、レコーディングができているか。	観察 演奏の聴取 実技テスト

※　表中の観点について

a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫　c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。